

囲気が良かった」と好評。特に、特産品を活用した「タコの梅肉和え」は絶品との声が多かった。・ビュッフェ運営を通じて、調理技術だけでなくサービスやチームワークの重要性を学ぶ機会となり、生徒の自信と実践力向上につながる成果を得た。

【能力・スキル】

越生町・サステナビリティ・デジタルリテラシー・コンセプチュアルスキル
アントレプレナーシップ

【関連企業】

女子栄養大学/香川調理製菓専門学校

【授業名・プロジェクト名】「卒業作品展」

3年調理科2月～3月4日（火）「総合調理実習」・「調理実習」で実施

【授業の概要・狙い】

3年間の集大成として毎年卒業作品展では、お世話になった保護者に松花堂弁当を振る舞ってきたが、コミュニケーションがうまく取れない場面も多かった。そんな反省も踏まえたうえで今年度は、マイスター・ハイスクール事業の一環として越生町の特産品を料理の中に取り入れたビュッフェ形式にスタイルを変え食事を通じて、生徒の成長ぶりを保護者にも見ていただき、保護者、生徒、教師が自然に交流する機会を増やし保護者と生徒が緊張せず作品を鑑賞し試食する機会をつくる。



卒業作品展の様子

【成 果】

生徒が自ら3年間の調理実習の集大成として、ビュッフェ形式での接客の5原則から学び始め、企画・運営・設営にまで関わることで、生徒の自主性や責任感を養うことができた。

また保護者との積極的なコミュニケーションの場となり、実際の卒業作品展の経験は、卒業後にも役立つ貴重なスキルとなった。

【能力・スキル】

越生町・サステナビリティ・デジタルリテラシー・コンセプチュアルスキル
アントレプレナーシップ

【関連企業】香川栄養学園 松柏亭レストラン

②学科横断的なものづくりの実践

SX 人材に必要な能力・スキルを身に付けさせる観点から、越生町・サステナビリティについての理解をベースにデジタルリテラシー・コンセプチュアルスキル・アントレプレナーシップを身に付け、活用できる人材を養成することを目的から下記のような課題を学科横断的に取り組む活動を実施した。

	1 年生	2 年生	3 年生
自動車科	越生町クイズを考える	①エコカーを調べて推しを 3 つ選ぶ ②越生町を走る	次回の技能コンクールの改善点を考える
調理科	越生町特産品のポスターを考える	クリスマスコンテストのポスター案を考える	越生町特産品を使った卒業作品展レシピを考える
普通科	越生町を紹介する動画を創る	チョコレート PJ のプロモーションを考える	チョコレートPJのパッケージを考える

またキッチンカーはすでに今年度の入学生に調理科が制作したチョコパイを入学祝いとして配布する活動は始まっていたが、学校外でのイベントや広報活動に使用するために自動車科・調理科で協力し、軽トラックの車検の時期に合わせて、特殊車両 8 ナンバーへの構造変更申請とキッチンカーで何を販売するかを検討し、調理科の生徒がキッチンカーの内装の寸法から保健所の申請までを教師と一緒に作成し、「清和学園高等学校キッチンカー」として県内での食品営業の許可を得ることができた。1 1 月 3 日の越生町の産業祭には、調理科の制作したチョコパイ 2 0 0 個を 2 時間足らずで完売することができた。今後は、町内の各種イベントへの参加や、災害時の活用方法を生徒と越生町の関係者と模索した取り組み活動を継続してやっていく。

③企業連携組織の構築

昨年度の成果報告会の中、企業との取り組み活動を増やすようにといった指摘を受けたことを踏まえて、今年度は、企業連携授業を増やす取り組み活動を行った。

一川学園には、併設している「専門学校越生自動車大学校」があり、その中には、4 0 社を超える自動車関連の企業後援会の組織がある。そこで、今年度は、「日産プリンス埼玉販売株式会社様」に加えて、「日野自動車株式会社様」「埼玉トヨタ自動車株式会社様」・「埼玉スバル株式会社様」の協力を得ることができた。日野自動車様では、大型トラックの製造ラインの施設見学を実施し、日産プリンス埼玉販売様からは、運転支援技術の「プロパイット」や、電動化にあたる e-POWER の授業、トヨタ自動車様には水素を使用して走る「MIRAI」を教材にゼロカーボン社会実現の取り組みの授業を実施。埼玉スバル様からは障害を感知して制止する「アイサイト」への同乗体験など各社の特色ある、授業・実車による実習を実施することができた。

調理科においては、越生町で菓子製造業の許可を得て梅やゆずを使用したクッキーなどを製造している「おごせ福祉作業所」の協力を得ながらバレンタイン商戦に向けて販売するチョコレートの仕上げや

袋詰め作業を、作業所の皆さんと生徒と一緒に作業するといった活動を通して、福祉施設の役割や地域との連携の重要性を学びながら、地域との連携を強化していく活動も一つ生まれてきた。

来年度については、企業後援会の協力を得ながら、自走に向けたマスマスターの本来の目的でもある就職活動に結びつけられるような連携の在り方を模索していきたい。

④事業理念の展開と普及

事業の理念としては、産業界と専門高校、地方公共団体が一体となり、地域の持続的な成長をリードするため、絶えず進化する最先端の職業人材育成システムの構築を図るものである。本校では、学校魅力化やSX人材育成モデルの構築 Sustainability Transformation を掲げて、持続可能な地域活性化に向けた事業を産業界と地域の関係者とが協働し、解決を図ることができる次世代マイスターの育成を行うものである。そうした中、近隣の中学校・高等学校・特別支援学校等で出前授業・進路説明会・地域交流会等への参加を通してマイスター・ハイスクール事業の理解を深める取り組み活動を実施した。

まず地元にある越生中学校では進路説明会への参加・毛呂山中学校・川越大東中学校・八王子川口中学校では出前授業（簡単な自動車の基礎知識）の中で、生徒の取り組み活動を紹介し生徒募集にもつながる活動を実施した。また、特別支援学校からも本校に入学してくる生徒がいることから、特性のある生徒に対応した外部連携として、毛呂山支援学校（高等部）・大宮北特別支援学校（高等部）川越特別支援学校（高等部）との地域交流会・情報交換会に積極的に参加し、マスマスター・ハイスクール事業の理解を深めた。

また川越市内にある「ウェスタ川越」を会場として本校の姉妹校である武蔵越生高校が主催する中学校・高等学校の塾の先生方を対象とした学校説明会でも、マイスター・ハイスクールの取り組み活動を紹介し募集活動につながる取り組み活動を実施した。（184校参加）

来年度においては、自走に向けた取り組み活動の一環として、近隣の中学校の生徒にも今年度から実施した「技能コンクール」や「チョコレートプロジェクト」の審査会に招待するなどの新しい試みを行うことで、この事業の普及活動の一助にもしていきたい。

8、目標の進捗状況、成果、評価

概ね目標に向かって進められてはいるが、自動車科の地域課題解決に向けての活動や取り組みについては、今一つのところがある。

越生町を学ぶ授業により特に1年生について、越生町への理解が深まり、身近に感じることができるようになった。自動車科はCASE+α授業により、自動車産業の最新技術への理解が深まった。

特に電動化・エコカーによる環境問題への意識が醸成され、今後の地域課題解決に向けた土台は形成された。

調理科はチョコレートプロジェクトにより生徒の能力・スキルの伸長が認められ、また商品化して販売取り組みで広く越生町の梅、ゆずをPRすることで地域課題である特産果樹の消費量減少や6次産業化へ貢献できた。

目標の進捗状況の中で、学科を問わず、プロジェクト形式でそれぞれの課題のゴールを設定し生徒による発表の機会を増やすことで、人前で話す機会や経験が少なかった本校の生徒もやればできるといった自己効力感が高まることが確認できた。

9、次年度以降の課題及び改善点

◇カリキュラムの定常化

自動車科、調理科共に実習を活用した連携授業を数多く実施しているが、これら連携授業を授業の中へ組み込む必要がある。

次年度については、今年度カリキュラムをベースに可能な限り、定常授業化を進めていく。

◇能力・スキルの評価

現在は調理科の取り組みを中心に授業アンケート形式での生徒による自己評価で能力スキルの状況を確認している。

次年度はこの取り組みを出来るだけ多くの授業に広げ、評価状況を元に授業の改善を図っていきたい。また、生徒の自己評価以外の客観的評価についても課題として取り組んでいきたい。

◇自走に向けた取り組み活動について

県立高校と私立高校の違いから自走に向けて県からの補助金等が受けにくい状況がある中、本校にとっては、管理機関の一つでもある越生町との関係を今以上に活発化させるとともに越生町の観光協会・商工会・地元信用金庫等を巻き込みながらうめ・ゆず農家の高齢化・人口減少問題等の地域活性化に向けた取り組み活動を具体化していく活動の展開具体的な方策としては、

- ① マイスター・ハイスクール事業で培ってきたデジタルリテラシー・コンセプトチュアルスキル・アントレプレナーシップをベースに越生町の伝統行事(夏祭り)・観光協会・商工会等が主催する関連イベントへ高校生の企画やアイデアを提案しつつ積極的に参加することで越生町の活性化に結ぶべく活動を推進していく。
- ② 事業成果を越生町内外に広く発信・普及していくため、今までのInstagramや写真、動画といった撮りためてきたデータを整理して、映像コンテンツを作成し、地元のケーブルテレビにも協力を仰ぎ、学校説明会や越生町の各種イベント会場等で紹介させていただく機会を増やししながら、「一川学園応援団」としての支援の輪の拡大につながる広報活動の充実を図る。
- ③ 調理科で培ってきたチョコレートプロジェクトを今後は一歩前に進め、越生町の経営でもある「特産物加工研究所」との関係を強化し、越生町を全国各地にアピールできる(なびふる)新商品開発に向けての研究開発を具体的に「見える化」していく取り組み活動を今年度から実践していく。
- ④ 自動車科においても、完成した「清和キッチンカー」を越生町を含めた関連企業にも活用方法を検討してもらい、キッチンカーの災害時の利用方法や越生町の各種イベントに参加していく。「ゼロカーボンシティ宣言」を近隣町村と山並み連携として取り組んでいる越生町の環境問題を考えるイベント等に参加し、自動車関連企業からの新技術(CASE等)を学ぶ中で、併設する越生自動車大学校との7年一貫教育の中でそうした技術が生かせる活動を展開していく。そうした中で環境問題を考え、「ゼロカーボンシティ宣言」のイベントや行事に積極的に参加し、CO2削減に向けた取り組み活動をMHSで学んだことをベースに実践していく取り組み活動の推進。
- ⑤ 財政面での支援については、自走後も越生町・本校後援会・学校からも今後も同額の支援をお願いできるよう実績を積み上げていく活動を展開する。また「マイスター・ハイスクール応援団」として(Yellz)を活用したクラウドファンディングを推し進め、今年度から実際の活動を展開し資金面での基金活動を進めていく。
- ⑥ 通信制高校という特性から、他県のマイスター・ハイスクールの指定校とは異なり、地元の越生町

での就職を希望する生徒は極めて少ない現状がある。3年間マイスター・ハイスクール事業で培ってきたノウハウを「越生町ファンクラブ」と位置づけ、一端は、生徒が出身地の地元に戻って就職する。そのうえで各生徒が越生町の魅力①緑豊かな自然②都心にも近い③移住者支援・子育て支・起業支援等他の政策支援も他の市町村と比べて遜色なく、しかも自然豊かな地であることを3年間マイスター・ハイスクール事業で学んだ越生町の魅力をそれぞれの生徒がそれぞれの地域で発信することで、将来は越生町に移住そして起業してみたいと思われるような息の長い取り組み活動を継続して実践していく。

- ⑦ 令和7年度については、併設校の越生自動車大学校の強みである企業後援会の組織の中の一員として加わるにより産業界との連携を更に深めていくと共に、積極的に協力してくれる企業を一社でも多く増やす活動を推進。また越生町で新たに創設される「越生町ファンクラブ」との間で積極的な地域交流を深める活動を通して地域連携の輪を広げていく活動を展開していく

10、プロジェクトを通じたスキル伸長の自己評価



以下の4項目について「まったく向上していない(1)」から「非常に向上した(5)」で自己評価

能力・スキル	今回PJでの狙い	具体的な事例
デジタルリテラシー	PCを使った資料作成や情報収集の力	- インターネットで情報を調べ、自分たちのレシピやプレゼン資料に活かせるアイデアを得た - 資料作成時に表や画像を使い、視覚的に伝わるプレゼン資料を作成できた - デザインやレイアウトを意識して、分かりやすいスライドを作った
コンセプチュアルスキル	アイデアをまとめ、発展させる力	- 特産品の特色を活かして、他とは違うレシピを提案できた - 複数のアイデアをまとめ、実際に試作・改善できるように調整した - 発表内容にストーリー性を持たせ、地域の魅力を伝える工夫をした
アントレプレナーシップ	企画を立て、自主的に進める力	- アイデアが出ないとき、自分から積極的に提案してチームを引っ張った - 進行役を受け、イベントの流れをスムーズにする工夫をした - 試作で問題が出た際、自分から改善案を考え、すぐ実行した - メンバーの意見をまとめ、より良いレシピになるよう工夫した
地域課題解決力	地域や特産品への理解を深め、課題や魅力発信に貢献する力	- 地域の特産品の価値を考え、その魅力を引き出すレシピに挑戦した - 地域の魅力を伝えるために、特産品の特徴をアピールするネーミングを考えた - 地域外の人にも特産品の良さが伝わるように、SNSなどを活用して広めたいと思うようになった

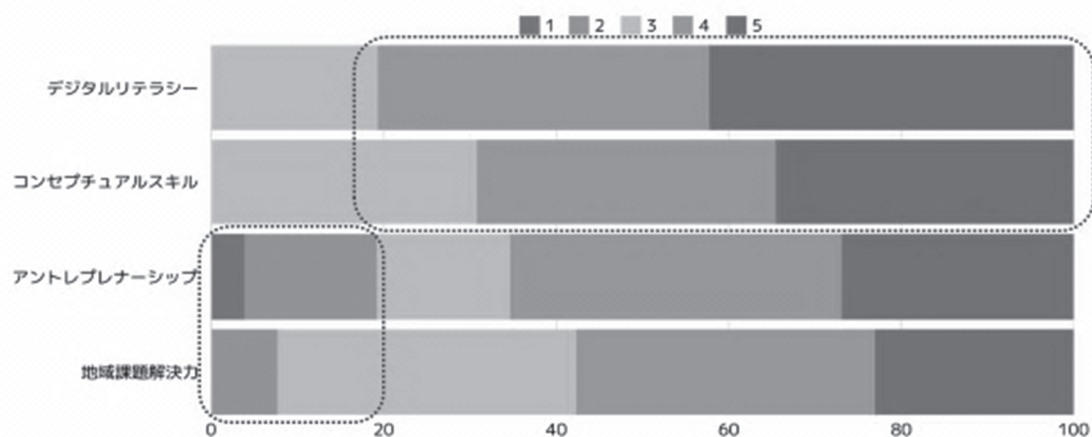
51

プロジェクトを通じたスキル伸長の自己評価



このプロジェクトの取り組みを通じて、他人との比較ではなく当初の自分と比較して、向上した・出来るようになった、と思えるかどうか教えて下さい。

→「まったく向上していない(1)」から「非常に向上した(5)」で自己評価を実施



52

上したと答えた生徒が4割近くいたのに対して、アントレプレナーシップについては、まったく向上していないと答えた生徒もいて、低い傾向があり、今後どのように生徒と向き合っていくかという課題も見えた。

11、プロジェクトでの行動振り返り

() は人数

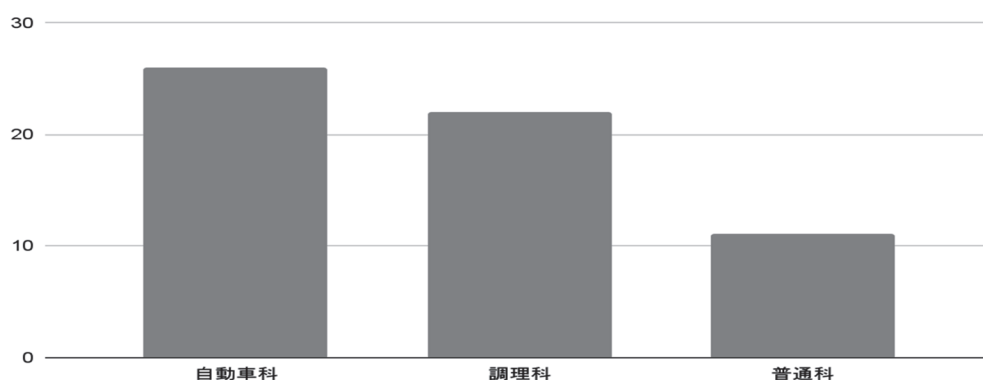
評価項目		レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
デジタルリテラシー	デジタルツールを使って、情報を集めたり、整理したりすることができましたか？	インターネットで情報を検索し、見つけた内容をノートに書き写すことができる。 (9)	調べた情報を紙に整理し、分かりやすくまとめて他の人に説明することができる。 (5)	資料を表や図にまとめ、他のメンバーと共有してプロジェクトで活用することができる。 (10)	必要な情報を複数の信頼できる情報源から比較し、整理して視覚的に分かりやすく資料化することができる。 (2)
	デジタルツールでチームメンバーとスムーズにコミュニケーションを取れましたか？	メンバーと必要な情報を紙にメモしてお互いに確認することができる。 (8)	メモやノートを使い、メンバーと活動内容や進捗を確認し合うことができる。 (9)	デジタルツールを活用して資料や進捗をまとめ、メンバー全員が見やすいように工夫することができる。 (2)	話し合いの記録や活動の進捗をデジタルでまとめ、チームメンバーがいつでも確認できるよう整理することができる。 (7)
コンセプチュアルスキル	デジタルツールを使って、情報を集めたり、整理したりすることができましたか？	自分の考えをノートに書き出して、発表前に整理することができる。 (4)	要点を分かりやすくメモして、他の人にわかりやすく伝える工夫をすることができる。 (7)	図やイラストを用いて、視覚的にわかりやすく整理して説明することができる。 (9)	重要なポイントをまとめて発表資料に反映し、視覚化や事例を交えて効果的に伝えることができる。 (6)
	問題を解決するために、いくつかの方法を考えて選択できましたか？	一つの方法を考え、実行に移して見る。 (6)	複数の方法を考え、どれが良いかメモにまとめて選ぶことができる。 (11)	メンバーと意見を出し合い、方法を比較してチームで話し合っ て決定することができる。 (8)	実行可能な方法をいくつか比較・評価しメリット・デメリットを考えた上で最適なものを選択し、実行することができる。 (1)
アントレプレナーシップ	チームの目標に向けて積極的に行動しましたか？	チームの目標を理解し、自分ができることをサポートすることができる。 (13)	役割分担を行い、担当部分を計画通り進めるように心がけることができる。 (5)	自分の役割だけでなく、他のメンバーのサポートにも積極的に参加することができる。 (5)	目標達成のために全体の進捗を見ながら、計画的に行動し、チーム全体をリードすることができる。 (3)
	新しいアイデアや方法を提案し実行に移せましたか？	自分の考えた方法を試しに実行してみることができる。 (9)	アイデアをチームメンバーに提案し、役立つか判断したら試してみることができる (7)	他の人の意見を取り入れつつ、新しい方法を提案し、実行計画を立て実践することができる。 (6)	プロジェクトに役立つアイデアを積極的に提案し、問題解決や改善案を計画的に実行し、他の人にも共有することができる。 (4)

プロジェクトでの行動振り返りについては、デジタルリテラシーやコンセプチュアルスキルの項目の一部については、レベル4に達する生徒も20%以上いるのに対し、アントレプレナーシップについては、レベル1が30%以上であるが、レベル4は20%未満と低く、来年度は自分の役割だけでなく、全体を見据えた行動や計画を立てていく必要性がある。

12、各種アンケート結果

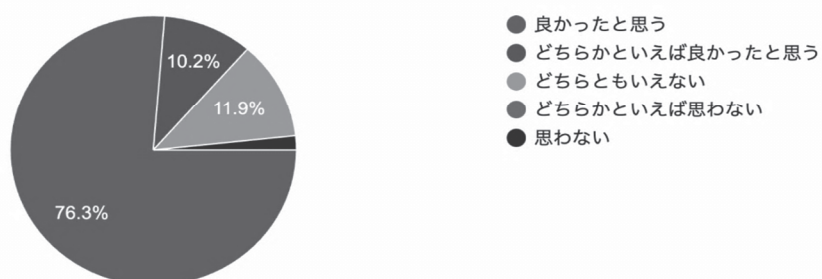
「SDGs カードゲーム授業についての授業アンケートまとめ」

回答者数



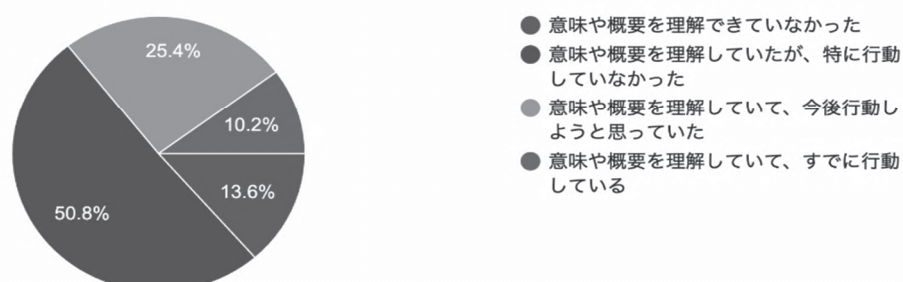
今日の授業を受けた感想を教えてください。

59 件の回答



授業を受ける前のSDGsについての理解・状況について教えてください。

59 件の回答



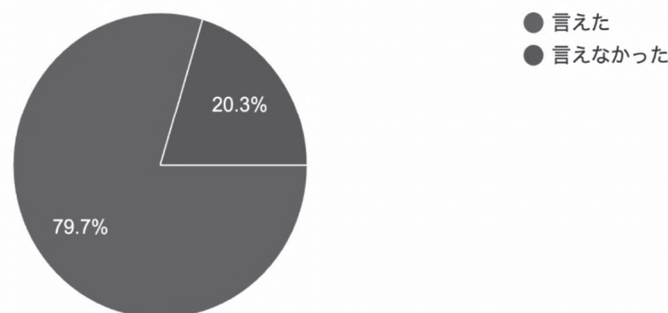
個人の行動の重要性やSDGsとのつながりについて理解できましたか？

59 件の回答



振り返りの時間で越生町の課題や解決のアイデアを話し合いましたが、自分の意見は言えましたか？

59 件の回答



SDGs 回答全体の考察

生徒たちの回答を俯瞰すると、いくつかの主要なテーマが浮かび上がった。まず、越生町の地域課題として多くの生徒が「人口減少」や「少子高齢化」、「観光客の減少」などを挙げており、これらの課題を解決するための具体的なアイデアとして「イベントの開催」や「PR、宣伝活動」、「交通網やインフラの整備」などが提案された。また、インフラ面での課題として「コンビニや商業施設の不足」も指摘された。

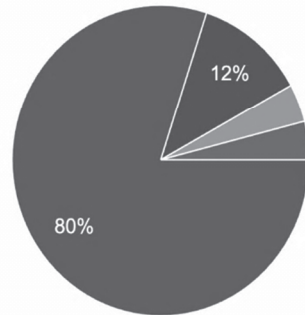
一方で、一部の生徒は課題やアイデアを思い出せなかったり、具体的な提案がないという回答も見受けられた。このことから、全体的には地域課題への認識や解決策のアイデアが幅広く共有されている一方で、さらに具体的な行動計画や深い理解を促す教育が必要であることも分かった。

特に、SNS やポスター、イベントの企画など、地域の魅力を広めるための方法に対する関心が高く、この点を生かして地域活性化の取り組みを行うことが効果的ではないか。また、交通網やインフラの整備についての具体的な提案も多く、この分野での改善が地域の魅力向上に寄与する可能性が高いことが分かった。

「VR 溶接授業アンケートまとめ」

VRで溶接をやってみた印象はどうですか？

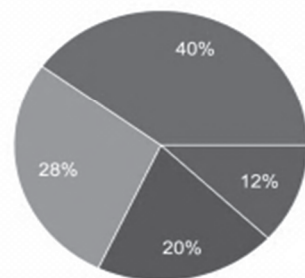
25 件の回答



- 体験できてとてもよかった
- どちらかといえばよかった
- どちらかといえばあまり良い体験ではなかった
- よくなかった

実際の溶接と同じところと違うところがあったと思われますがVRではなく実際の練習をしたいですか。

25 件の回答



- VRでたくさん練習したい
- どちらかといえばVRで練習してみたい
- どちらかといえば実際の溶接で練習したい
- 実際の溶接でたくさん練習したい

（設問 1）今回は VR で溶接をやりましたが、VR を使って他にどんなことをやってみたいですか。

1. 実車を使った体験をしたい

車の運転をしてみたい

自分たちは 1 年生で免許が取れないので運転体験をしたい

交通安全シミュレーターをやりたい

2. エンジン・機械構造に関する学習

エンジン構造を学びたい

エンジン分解をやりたい

エンジンのバルブやピストンの取り付けをしてみたい

VR でエンジンを降ろしたい

部品の名称と一緒に部品が見られるようにしたら面白い

3. 整備・実習に関する希望

タイヤ交換をやりたい

自動車整備のシミュレーターをしたい

どんなことも VR ではなく実際にやりたい

機械の扱いに関する安全教室をしてほしい

4. VR やシミュレーションの活用

VR でエンジンを降ろしたい

自動車整備のシミュレーターをやってみたい

5. 感想

ちょっとだけやりづらかったけど楽しかった

むずかしかった

自動車のことについてもっと学びたい

回答まとめ

全体として、「実際に手を動かして学ぶ実習」や「運転体験」への関心が高いことが分かった。また、VR を活用したいという意見もある一方で、「VR ではなく実際にやりたい」という意見もあり、リアルな実習の重要性が伺えた。

(設問 2) 今回の実施方法についてもっとこうして欲しかった、などの意見をぜひ教えてください

1. ポジティブな意見 (満足した点)

分かりやすかった (多数)

「すごく分かりやすくて凄くいい体験をしたと思いました！」

「最高でした、わかりやすかった」

「説明はとても分かりやすかったです」

「とてもやりやすかったです」

「やりやすかった」

VR 体験を楽しめた

「とても分かりやすかったです！」

「とてもわかりやすかった。」

2. 改善してほしい点

VR 機材のフィット感

「頭がでかすぎてあまりフィットしなくて楽しみづらかった」

「メガネをかけている人にもう少し対応できるようになれば嬉しいです」

リアル感・作業の感覚

「難しいからもう少しリアル感がほしい」

「VR ということもあり感覚が掴めずに難しかった」

「VR 技術によるシミュレーション用としてはいいですが、実際に作業をしない分感覚が掴みづらいつ感じました。VR による映像だけでなく感覚をつかめるような工夫が必要だと思います。」

重さのバランス「持ったとき、重さが偏っていて難しかった。」

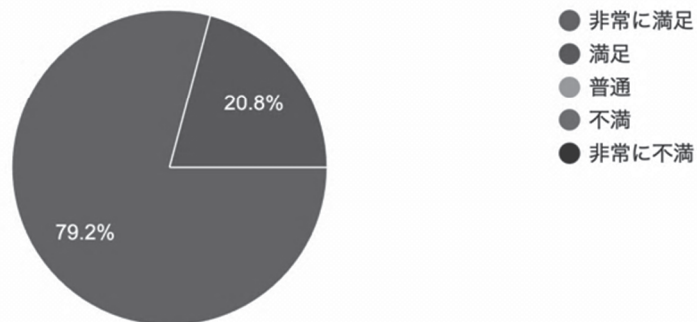
回答まとめ

全体的には「分かりやすかった」「良い体験だった」との満足度が高い意見が多かったが、一方で「VRのフィット感」「リアルな作業感覚の不足」「重量バランス」などの改善点も挙げられた。特にVRならではの「感覚を掴みにくい」という課題が複数指摘されており、今後の実施では、よりリアルな体験ができる工夫が必要。

CASE+α「日産GT-Rから学ぶものづくり」アンケートまとめ

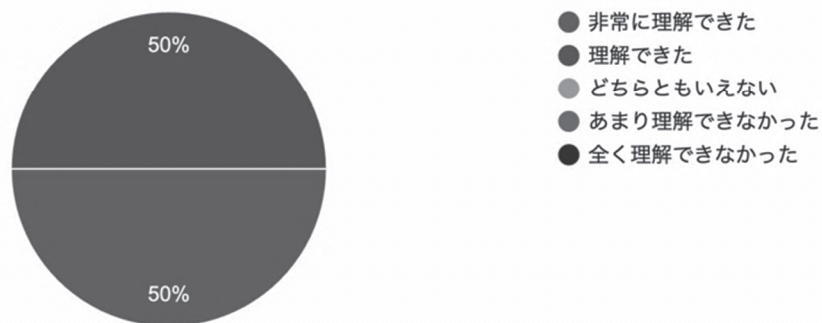
今日の授業の満足度を教えてください。

24件の回答



授業内容についてどれくらい理解出来たのか教えてください。

24件の回答



(設問 1) GT-R の技術や構造で特に興味を持った点と、その理由 (自由記述)

1. 車両構造・技術的特長

- ・ レースカーをベースにした市販車のツインターボの直6エンジン、秀逸の4WDと後輪ステアリング、世界一のコーナリング性能
- ・ 奇数と偶数ギアがそれぞれ用意されていることと、その仕組みに驚いた
- ・ MTについて。シャフトが2個ある事とリアミッションがほんとに凄いと思いました
- ・ アテッサEt-S、デュアルミッション。理由は、他には見ないミッションだと思ったからです
- ・ 1.7tという車重が昔も今もほとんど変わっていないことに疑問を持っていたから

2. 空力や重量バランス

- ・車重を重くして安定させている所。ダウンフォースを意識して作っていると思ったから
- ・重量を重くし、タイヤのグリップを上げているところ。理由は、速い車イコール軽いというイメージがあったから。
- ・空力についてもっと知りたいと思いました

3. タイヤ

- ・タイヤの安定さや硬さ
- ・ランフラットタイヤについて
- ・ドライバーの安全性を高める為のランフラットタイヤ、高速走行に適するようにアンダーカバー等を装着しているところです！
- ・ランフラットタイヤの高速走行可能など、理由は普通のタイヤより強度が違うから作り方を知りたい

4. デザインや感覚的な要素

- ・メーターや、エンジン音がすごくカッコよかった
- ・エンジン音やメーターなどがカッコよかったです

5. 外部診断機

- ・パソコンで車の状態がわかることが興味深かった、パソコンで車の状態がわかると思わなかった

「日産プリンス埼玉 特別授業（e-Power、プロパイロット）」アンケートまとめ

授業理解度把握

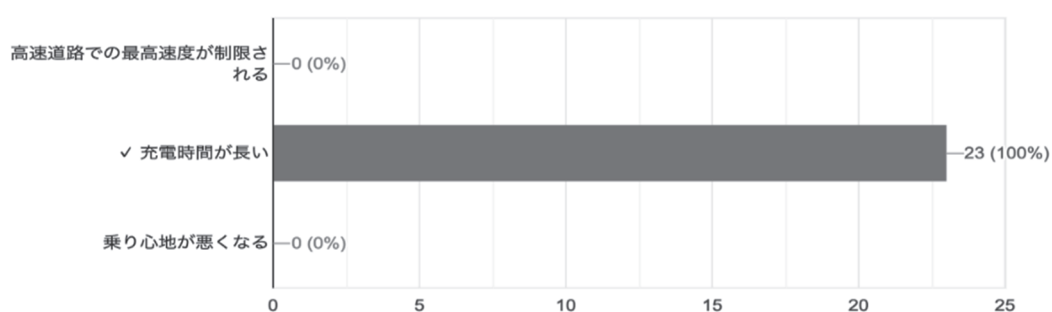
回答者は23人、全10問で、全問正解17名、9問、8問が各3名

平均正解数は9.6問

簡単な3択問題ではあるが、生徒の理解度は高いと判断出来る。

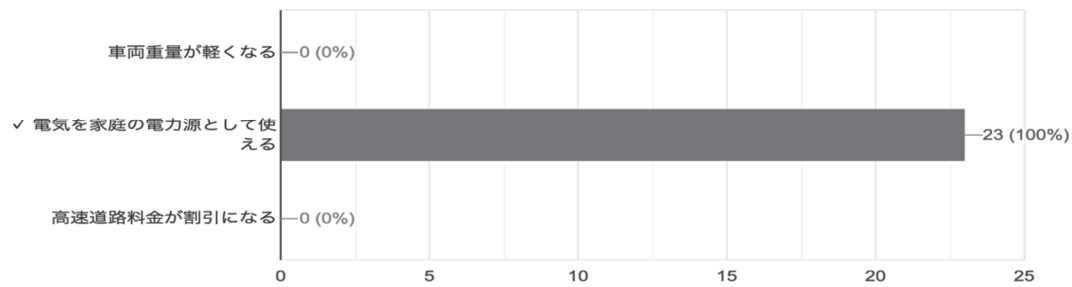
電気自動車のデメリットはどれですか？

正解 23/23 件



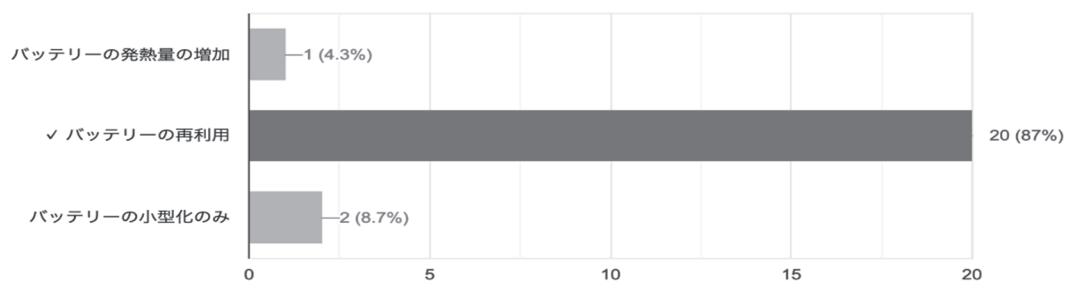
電気自動車の排出ガス以外のメリットはどれですか？

正解 23/23 件



バッテリー開発において日産が特に力を入れている取り組みは何ですか？

正解 20/23 件



運転支援技術（プロパイロット）の体験学習についての感想

生徒の自由記述について、内容を分類してまとめた。

■技術の驚き・感動

- ・凄かった
- ・色々すごいと思った
- ・車が勝手に動くのに感動しました
- ・自動で車線変更ができるということにビックリしました
- ・自動で駐車する技術が凄いと思いました
- ・自動で駐車したり、リモコンで車が動いたりするのが、すごかったです
- ・自動駐車凄かったです
- ・初めて乗って自動運転の凄さを知ることができてとても光栄でした。新たな自動運転なども乗ってみたいと思いました
- ・自動運転の素晴らしさに気づいた

■技術の進化・知識の習得

- ・技術の進化を知れた
- ・プロパイロットについて詳しく理解できて良かったです
- ・現在の自動車業界の事と自動運転(プロパイロット)のこれからの未来の話を聞き改めて深く考えるようになりました

- ・電気自動車について色々と学ぶことができました

■体験に対するポジティブな印象

- ・関心をもてた
- ・楽しかったです
- ・CM などを見てあまり良さそうじゃ無いなと思ったけど説明を聞いたり実際に乗って見たら印象が変わってすごい感動しました
- ・運転者への負担を軽減させより便利にさせる努力が感じられ関心を持ちました

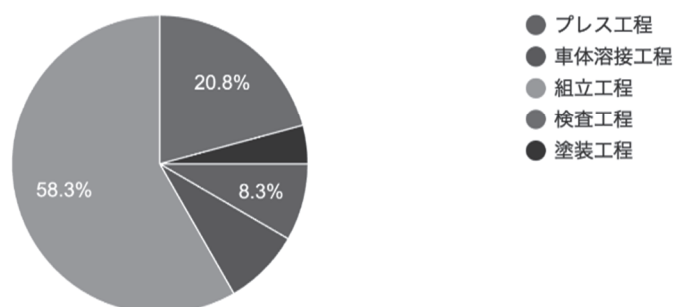
■課題や改善点の指摘

- ・駐車できる位置を細かく調整出来るが、カメラやセンサーによるズレが多少起きてしまう

「日野自動車工場視察」アンケートまとめ

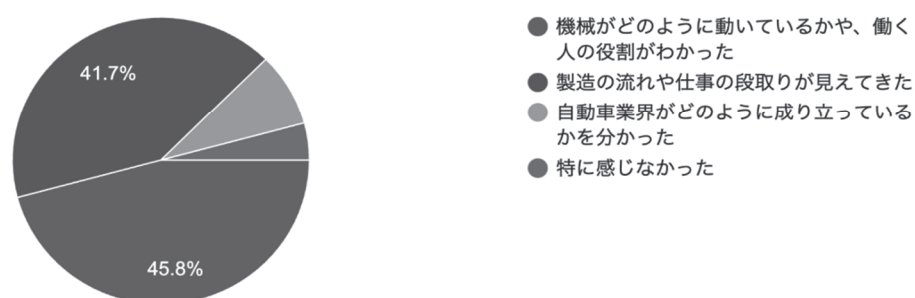
今回の工場見学で一番印象に残った工程はどれでしたか？

24 件の回答



今回の見学を通じて、普段は見られない自動車製造の新しい発見や理解が深まったと感じましたか？

24 件の回答



(設問 1) 見学して新たに知ったこと・驚いたこと (自由記述)

1. 人と機械のバランス

- ・機械よりも人の作業が多かったことに驚いた

- ・ロボットと人が協力して作業しているのが印象的だった
- ・トラックの組み立てには人の手が多く関わっていた

2. 製造工程の特徴

- ・溶接が全自動だったことに驚いた
- ・組み立てたばかりのエンジンがすぐに稼働できると知った
- ・ライン工程のスムーズさや作業スピードに感心した

3. 工場の設備と技術

- ・施設の広さに驚いた
- ・顔認証システムがあったことが印象的だった
- ・自動機械やロボットの多さに驚いた

4. 日野自動車の方針

- ・電動化への取り組みが控えめであることを知った

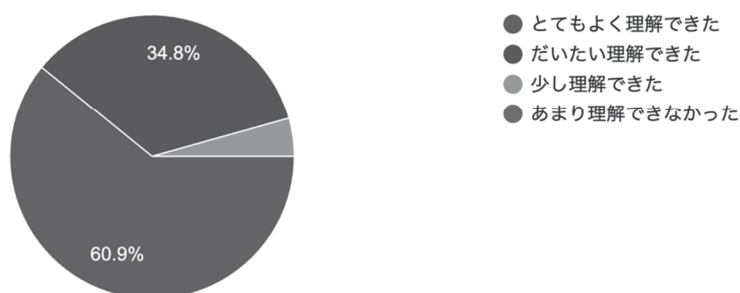
5. その他

- ・トヨタ・プラドを製造していることを初めて知った

CASE+α「スバル自動車アイサイトを学ぶ」アンケートまとめ

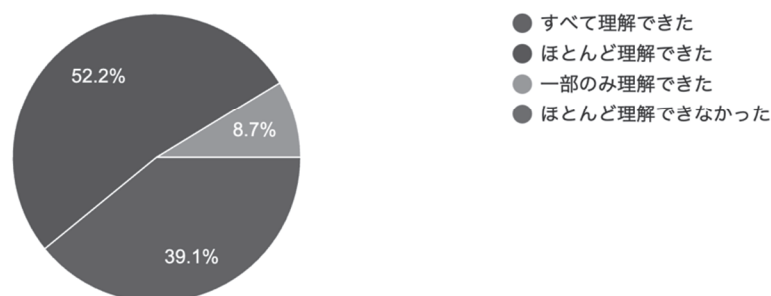
スバルの歴史やどんな車を開発してきたのか等について、どの程度理解できましたか？

23 件の回答



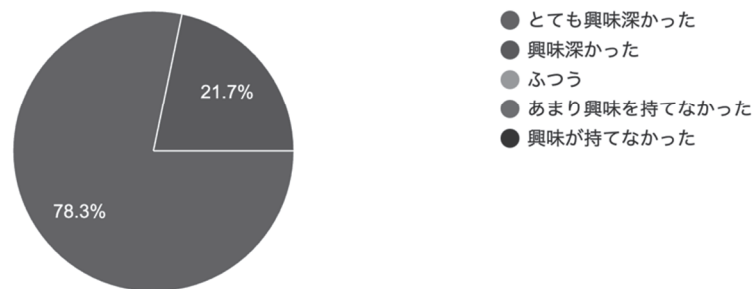
アイサイトの仕組み・技術について、理解度を教えてください。

23 件の回答



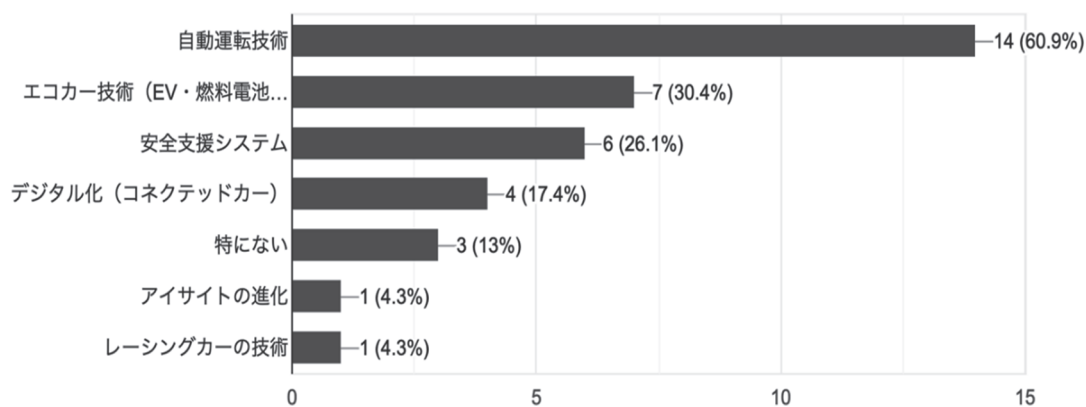
アイサイトの動作確認や試乗体験について、どのように感じましたか？

23 件の回答



自動車の最新技術について、特に興味を持っている分野を教えてください。

23 件の回答



(設問 1) アイサイトの仕組み・技術について、特に印象に残った点について、具体的に記述してください。

- ・主な機能を「ステレオカメラ」による認識と制御によって実現していて距離がわかる所
- ・緻密に制御されていると感じた
- ・止まる車間距離
- ・ver. が何個もあるのが初めて知って気になりました
- ・アイサイト搭載車の事故軽減率
- ・アイサイトがどのような場面で作動するのか、逆にどのような場面だとドライバーが優先・作動しないのかを詳しく知れた
- ・人や車、車線を AI で感知して、自動的に区別してくれるシステムがすごいと思いました
- ・人間の目とほぼ同じ機能を作ることが出来て、大量生産出来ていることがすごいと思いました
- ・バックをしても自然に止まってくれる事がわかりました
- ・アイサイトはすごい仕組みな技術でした

- ・最新は自分の思ったより進化していて凄かった
- ・2つの目で距離を測るシステム
- ・距離がわかること
- ・カメラやセンサー、衛星を用いた安全性、快適性
- ・アイサイトがどのように進化していったこれから先もどんな技術になるのか考えられた
- ・1989年にステレオカメラによる運転技術の開発が始まったことが印象的でした
- ・暗い中でもちゃんと使える事
- ・AIが人や自動車を自動で区別して、事故率を減らしてくれるのがとても凄いなと思いました
- ・昼間の走行もそうですが夜間の歩行者検知でのブレーキが映像を見てスバルのドライバーサポートにおける頼もしさを感じました
- ・アイサイトは、長年研究し世の中に出たのを知った
- ・急な飛び出しに対応出来るのがすごいと思った

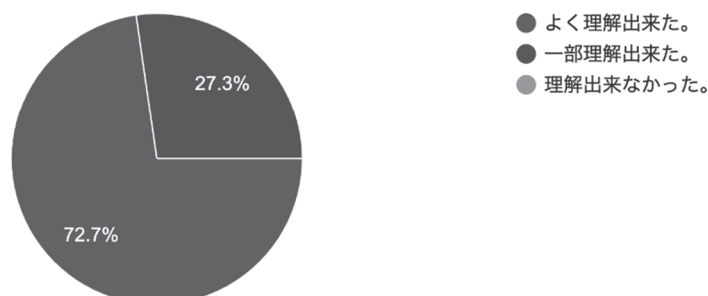
(設問2) 試乗体験などの実習を通じて特に学んだことや感じたことを記述してください

- ・バックする時にアクセルをベタ踏みではあまりスピードが出ないという所
- ・速度が低い方がブレーキの衝撃が凄かった
- ・ABSみたいなブレーキ
- ・背中がゾワゾワしました
- ・アイサイトの進化状況
- ・懐かしい感覚
- ・まさかフォレスターに3回も乗れるとは思っていなかったのもとても面白かったです
- ・実際に乗ってみて、メーターのところなどで教えてくれるのが凄くいいなと思いました
- ・急に車がブレーキをかけるような状況にならないよう将来気をつけようと思いました。ゆっくり走行して止まっても、早く走行して止まっても、どちらも怖さは変わらなかったです
- ・運転手が寝ていてもちゃんと止まってくれるのでとても凄い技術だなと思いました
- ・急ブレーキを体験して良かったと思います
- ・リアの席座った方がよりプリクラッシュブレーキを感じれたと思った
- ・色々な状況を想定して作ってあったこと
- ・しっかり音で、知らせってからブレーキがかかりタイミングが分かった
- ・踏み間違いによる事故防止の工夫がすごいと感じました
- ・ブレーキを踏まずに止まって後ろに下がる時も制御をしていて、人のことを考えて作られていると思った
- ・前の車との距離100m前から認知していることを学びました
- ・ちゃんときいていて素晴らしいと思った
- ・メーター等を通してドライバーに警告等をしてくれるのがとてもすごいなと思いました
- ・試乗体験をして、非常ブレーキでも乗車していてあまり負担にならないブレーキが印象に残りました。
- ・そして外から見て当たり前ではないですが同じところでブレーキ痕が残っていてアイサイトシステムの精度を感じました
- ・急ブレーキですごい音が出た！！
- ・衝突防止もすごかったけど急なアクセル踏んでもすぐに進まなかったこともすごかった

CASE+α「最新整備技術入門」アンケートまとめ

外部診断機についての授業について教えてください。

11件の回答



<自由記述まとめ外部診断機>

生徒からは「DTC（診断トラブルコード）の番号の振り付け順が気になった」「診断機がとても便利だと感じた」「他の診断方法も試してみたい」という意見がありました。また、「普段使わない機器を操作できて新鮮だった」という声もあり、実践的な学習に興味を持った様子がうかがえます。今後は、より多様な診断手法や診断機の活用方法について学ぶ機会を設けることで、理解がさらに深まりそうです。

低電圧に関する授業について教えてください。

11件の回答



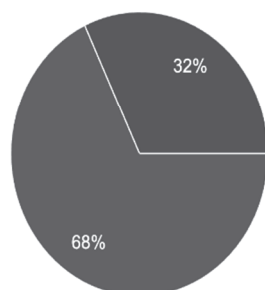
<自由記述まとめ低電圧>

低電圧作業に関する安全知識を学びました。生徒からは「電気の怖さを知ることができた」「作業にはかなりの危険が伴うと実感した」「さらに詳しく知りたい」という声が寄せられました。また、「安全に関する注意喚起の仕方が印象的だった」「電気自動車の作業に必要な知識が学べた」「資格が必要なことが分かった」という意見もあり、電気作業の重要性を理解した様子がうかがえます。今後は実践的な訓練を交えながら、安全意識をさらに高める機会を作るとよさそうです。

「VR 入門アンケート」 まとめ

VR入門の授業を受けた印象はどうですか？

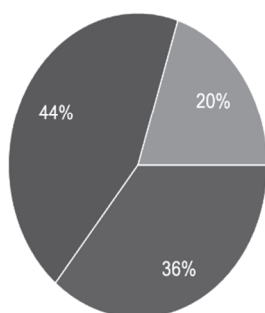
25 件の回答



- 体験できてとてもよかった
- どちらかといえばよかった
- どちらかといえばあまり良い体験ではなかった
- よくなかった

「はじめてのクエスト」を経験してみた結果、VRの操作には慣れましたか。

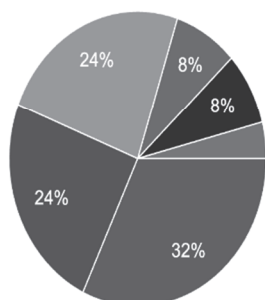
25 件の回答



- VRの操作に自信がついた
- VRの操作にはまあまあ慣れた
- VRの操作はまだ難しい感じがある
- VRの操作は苦手だ

今日のVR体験で、どんな技術が使われていると感じましたか？

25 件の回答



- 頭や体の動きを認識する技術
- 目の前の映像が立体に見える技術
- 手や指の動きを読み取る技術
- ゲームコントローラーのように操作できる技術
- まるで本当に触っているように感じる技術（振動など）
- 上3

(設問 1) 体験していて「すごい！」と思ったことや、「なぜこうなるのだろう？」と思ったことはありましたか？

1. 技術的な驚き・疑問

- ・手の動きの認識：「なんで手の動きがわかるのか気になった」「手の感触やべえ」「手の動きのリアルさ」
- ・VR コントローラーの仕組み：「VR 用のコントローラーの仕組みが気になりました」
- ・操作の反応：「ボタンを操作したらすぐに反応した」

2. 没入感・リアルさ

- ・別世界のような体験：「VR は、まるで別の世界に入り込んだかのような没入感を体験できる、驚くべき技術だなと感じます。」
- ・リアルな体験：「画面でゲームをしてたけど VR だと立ってリアルに体験できるからすごいと思った」「まるでその場にいるかのように足元から天井まで映し出されること。」「そこにいるかのように感じた」
- ・距離感の掴みやすさ：「自分が思っていたよりも、距離感が掴めたことです。」

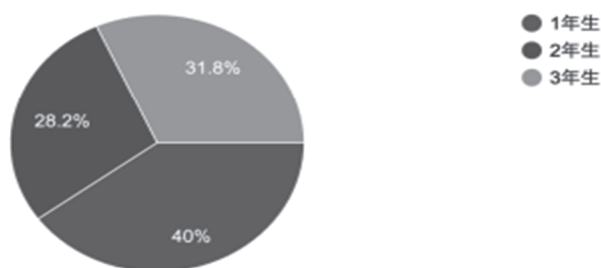
3. 使いやすさ・体験の感想

- ・チュートリアルの評価：「チュートリアルが丁寧でとてもわかり易く、ゲームが始まってもしっかりプレイできました。」「チュートリアルでの説明がとても丁寧で、初めてでもゲームを楽しむことが出来ました。」
- ・総合的な驚き：「全部すごかった」「すごい」
- ・VR 特有の影響：「酔いそう」

「東洋食品（大量調理）特別授業」アンケートまとめ

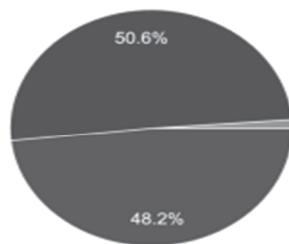
あなたの学年を教えてください。

85 件の回答



今日の授業内容は理解できましたか

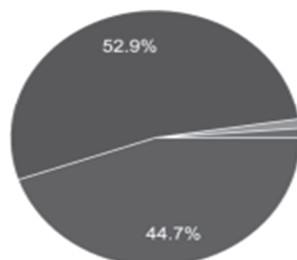
85 件の回答



- 非常に理解できた
- まあまあ理解できた
- あまり理解できなかった
- 全く理解できなかった

今日の授業を受けた満足度を教えてください。

85 件の回答



- 非常に満足した
- 満足した
- あまり満足しなかった
- 全く満足しなかった

（設問）集団給食（大量調理）を行う場合に気を付けないといけないこと、大事なことは何だと思えますか？あなた の考えを教えてください。

回答の分類

○衛生管理に関する回答

「衛生管理」が重要だと考えた回答は、圧倒的に多かった。

回答数: 46

○内容の例

- ・衛生管理
- ・衛生面
- ・衛生面を良くする
- ・手洗いや除菌の徹底
- ・異物混入を防ぐための対策
- ・食中毒の防止

○時間管理に関する回答

「時間管理」や「時間配分」の重要性について言及した回答も見られた。

回答数: 6

内容の例

- ・時間配分や清潔にすること
- ・時間に間に合うように素早く行動すること
- ・時間の自己管理

○協力やコミュニケーションに関する回答

「協力」や「コミュニケーション」、「チームワーク」の重要性を挙げた回答もあった。

回答数: 5

内容の例

- ・コミュニケーション、チームワーク
- ・一緒に調理をする人との連携
- ・周りにいる人への声かけなどの協力

○その他の意見

その他の個別の意見も含まれていたが、上記のカテゴリーに比べると少数だった。

例:食材の安全性 (2)

- ・体調管理 (1)
- ・温度管理と設備の管理 (1)

料理写真撮影 ルーブリック自己評価

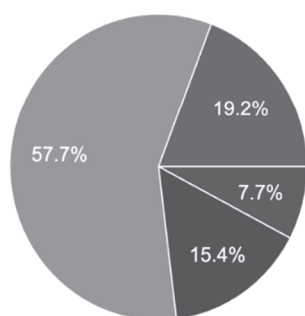
評価基準

今回の授業では「基本的な写真撮影」「見栄えを意識した工夫」について「レベル3」を目指して取り組んで下さい。
12/19のクリスマス・コンテスト撮影後に、この表のどのレベルまで出来たのか、自分で評価してもらいます。

取組観点	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
基本的な写真撮影	写真が暗かったり、ぼやけていたりして、料理がよく見えない。	明るさやピントは少し良いが、見えにくい部分がある。	明るさやピントが良く、料理がはっきり見える。	明るさやピントがとても良く、料理がきれいに見える。
見栄えを意識した工夫	背景や置き方の工夫がなく、料理がきれいに見えなかった。	背景や置き方を少し工夫したが、まだ料理が引き立っていない部分がある。	背景や置き方を工夫して、料理がきれいに見えるようになった。	背景や置き方をしっかり工夫し、料理がとても魅力的に見えるようになった。

基本的な写真撮影

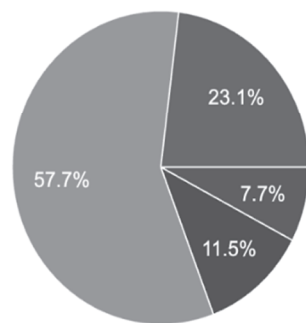
26 件の回答



- 写真が暗かったり、ぼやけていたりして、料理がよく見えない。
- 明るさやピントは少し良いが、見えにくい部分がある。
- 明るさやピントが良く、料理がはっきり見える。
- 明るさやピントがとても良く、料理がきれいに見える。

見栄えを意識した工夫

26 件の回答



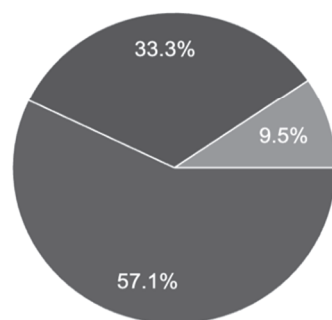
- 背景や置き方の工夫がなく、料理がきれいに見えなかった。
- 背景や置き方を少し工夫したが、まだ料理が引き立っていない部分がある。
- 背景や置き方を工夫して、料理がきれいに見えるようになった。
- 背景や置き方をしっかり工夫し、料理がとても魅力的に見えるようになった。

両観点ともに **75%以上**の生徒が目標のレベル **3** に到達したと自己評価

「飲食店オープン講座」授業アンケートまとめ

授業全体の満足度を教えてください。

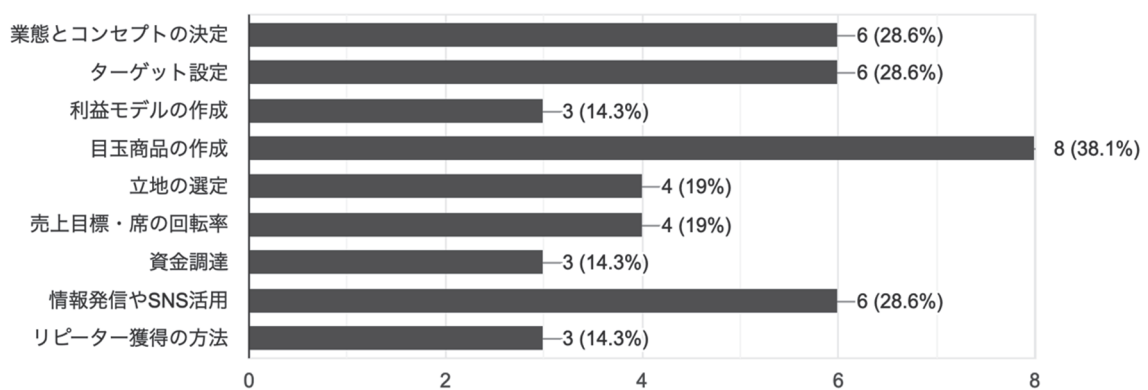
21 件の回答



- とても満足した
- 満足した
- どちらでもない
- 不満だった
- とても不満だった

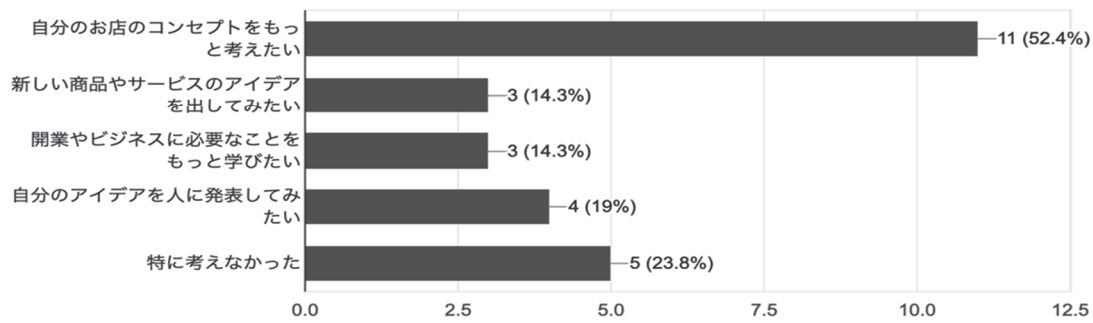
授業を聞いて、特に興味を持ったものは何ですか？（複数選択可）

21 件の回答



授業を受けて、次のようなことを考えましたか？（複数選択可）

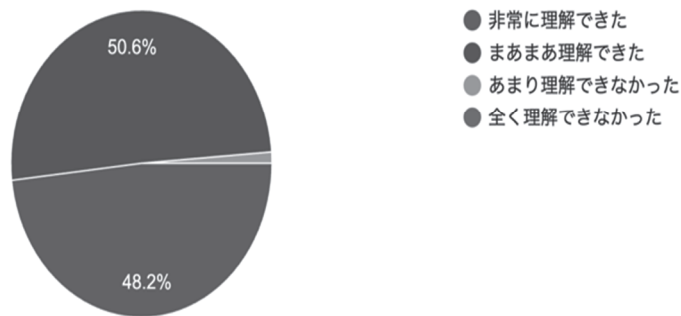
21 件の回答



「給食業務を学ぶ」授業アンケートまとめ

今日の授業内容は理解できましたか

85 件の回答

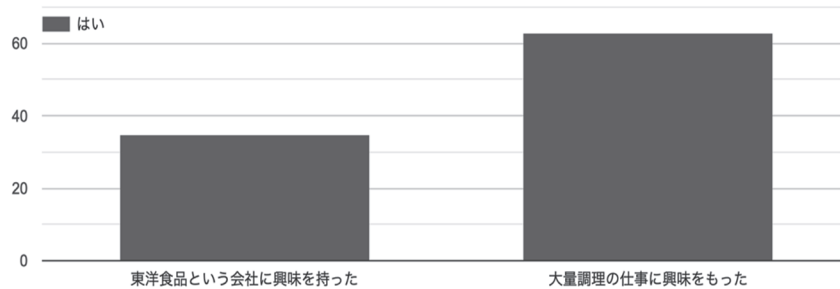


今日の授業を受けた満足度を教えてください。

85 件の回答



今日の授業を受けて東洋食品という会社や集団給食の様な大量調理の仕事に興味を持ちましたか？



(設問 1) 集団給食（大量調理）を行う場合に気を付けないといけないこと、大事なことは何だと思いましたか？あなたの考えを教えてください。

回答の要約

1 衛生管理（衛生面・食中毒予防）

- ・手洗いや消毒、異物混入防止、温度管理、設備管理などを徹底することが重要。
- ・食材の安全性を確保し、食中毒を防ぐために衛生観念を持つことが必要。

2 時間管理（効率的な作業）

- ・決められた時間内に業務を終えられるよう、素早く行動することが求められる。
- ・時間配分を意識し、計画的に作業を進めることが重要。

3 チームワーク（連携・協力）

- ・調理をする人同士が協力し合い、周囲への気配りや声かけを行うことが必要。
- ・役割を理解し、連携を取ることでスムーズに作業を進めることができる。

全体的に「衛生管理」の重要性が強調されており、次に「時間管理」「チームワーク」の大切さが指摘されています。

(設問) 授業の感想を教えてください。

回答の要約

学びや気づき

- ・集団給食の仕組みや大量調理の大変さ、衛生管理の重要性を知ることができた。
- ・体力が必要な仕事であり、給食センターの職員は毎日大変だと感じた。
- ・8人で500人分の食事を作る大変さに驚いた。
- ・アレルギー対応の部屋があることを初めて知った。
- ・学校給食の作り方について理解が深まった。

今後知りたいこと・体験したいこと

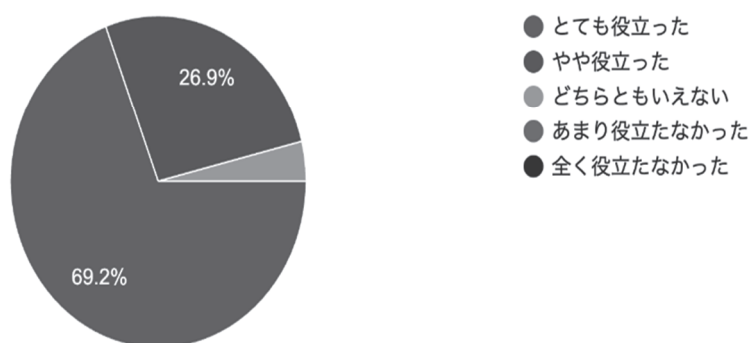
- ・実際の大量調理の現場を見学したい。
- ・働いている人の経験談をもっと聞きたい。
- ・給食業務の具体的な内容を詳しく知りたかった。
- ・給食以外の業界の話も聞いてみたい。
- ・お菓子作りに関する授業もやってほしい。

※授業を通じて大量調理の重要性を理解し、より実践的な体験や具体的な話を求める声が多かった。

「立食ビュッフェを学ぶ・特産品レシピ立食ビュッフェ」（卒業作品展）アンケートまとめ

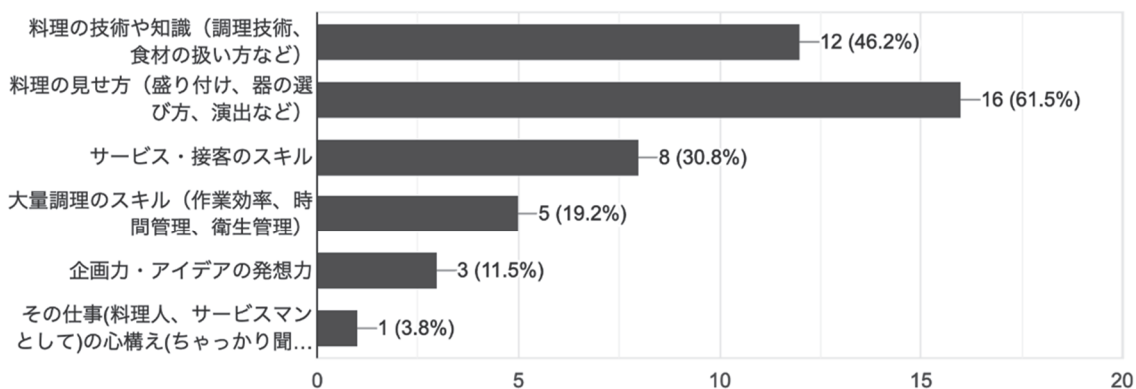
松柏軒レストランの方による特別授業（器の選び方の提供）は卒業作品展の準備に役立ちましたか？

26 件の回答



松柏軒レストランの方による特別授業を通じて成長したと感じるスキルを選んでください

26 件の回答

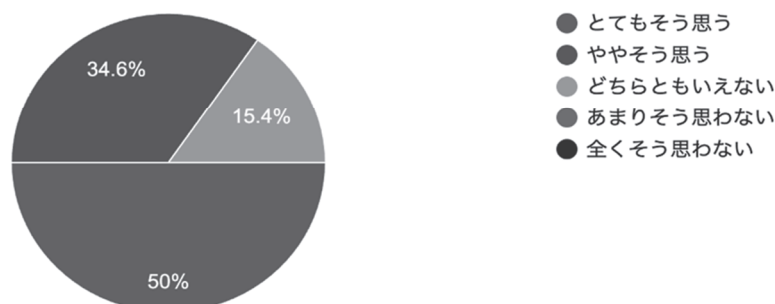


立食ビュッフェ形式の卒業作品展で大量調理を経験して、特に難しかったことを選んでください

26 件の回答



立食buffet形式の卒業作品展を通じて、料理やソースのアイデアを考える力がついたと感じますか？
26 件の回答



(設問 1) 立食buffet形式の卒業作品展を通じて学んだこと・工夫したこと

1. 役割分担とチームワーク

「役割ははっきりさせました」

「提供の仕方」

「buffetスタイルで提供のやり取りを素早く行うことができた」

※役割を明確にすることで、スムーズな提供が可能になり、円滑な運営に繋がった。

2. 盛り付けや配置の工夫

「並べ方を工夫しました」

「盛り付け方など学びました」

「盛り付け方や立ち回り」

※料理の見た目の美しさや食べやすさを考え、配置や盛り付けを工夫した。

3. 食べやすさの工夫

「どうすれば食べやすいかを工夫した。」

「どうすれば食べやすくなるか考えた」

※立食形式ならではの食べやすさを意識し、工夫を重ねた。

4. 調理の効率化

「三品作る時の効率のいい順番」

「工程時間の調整」

「調理を効率的に行うことの大切さが分かりました。」

※複数の料理を並行して作るための順序や時間配分の重要性を実感した

5. 提供のタイミングや連携

「他の料理とのタイミングの連携が大変だった」

※料理を適切なタイミングで提供することが難しく、チーム内の連携が求められた。

6. 味付けや分量の調整

「誰好みの味付けにするか」

「何倍かにした時同じ分量じゃだめなのでそれについてどれくらい減らすかとか」

「自分達より上の世代の方に何がフィットするのか」

※来場者の層を考慮した味付けや、分量を増減する際の調整の難しさを学んだ。

まとめ

今回の卒業作品展では、役割分担やチームワーク、盛り付けや食べやすさの工夫、調理の効率化、提供のタイミング、味付けや分量調整の難しさといった多くの学びが得られた。特に、立食ビュッフェ形式ならではの運営や提供の工夫を経験し、実践的なスキルを向上させる機会となった。